

令和6年上半期における交通死亡事故の発生状況

令和6年8月14日
福岡県警察本部
交通部 交通企画課

【概況】

交通事故死者数の推移

- ・ 死者数は47人で、前年同期比+3人、6.8%増
- ・ 65歳以上の死者数は27人で、前年同期比±0

〔特徴〕

- ・ 状態別死者数は全年齢で、「歩行中」は増加、「自動車乗車中」、「二輪車乗車中」、「自転車乗用中」は減少
- ・ 状態別死者数は、全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最多

令和6年上半期の交通事故発生状況

○ 歩行者

- ・ 歩行中死者数は2年連続の増加、65歳未満の「夜間」・65歳以上の「昼間」が増加
- ・ 事故類型別で見ると、昼間帯65歳以上の横断中が増加

○ 自転車

- ・ 自転車乗用中死者数の人身損傷主部位は「頭部」の割合が高い
- ・ 交差点の事故が多く、自転車の法令違反なしが8割
- ・ 飲酒自転車関連死亡・重傷事故は平成27年及び令和6年を除き毎年発生（平成26年以降）
- ・ 携帯電話等使用自転車関連事故は令和3年が17件で最多（平成26年以降）

○ 高齢運転者

- ・ 免許保有者10万人当たりの死亡事故件数は、75歳以上高齢運転者が75歳未満運転者よりも多い
- ・ 75歳以上高齢運転者、75歳未満運転者共に「安全不確認」による事故が多い

○ 飲酒運転・携帯電話等使用運転（自動車）

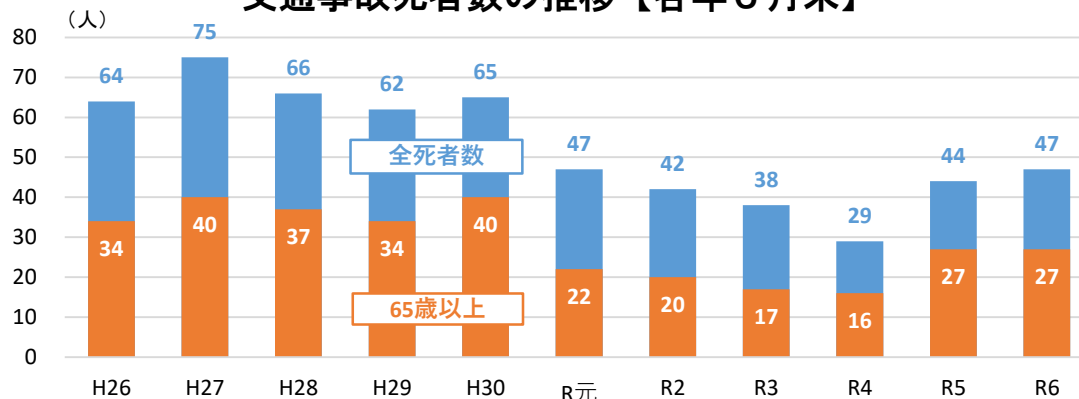
- ・ 飲酒死亡事故は令和元年が7件で最多、飲酒重傷事故は平成26年・平成27年が7件で最多
- ・ 携帯電話等使用死亡事故は令和6年に1件発生

(注)・本資料は、令和6年7月17日までに入手したデータにより作成したものである。
・数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。
・令和6年の重傷者数は暫定値である。

1 交通事故死者数の推移

- 死者数は47人で、前年同期比+3人、6.8%増
- 65歳以上の死者数は27人で、前年同期比±0人

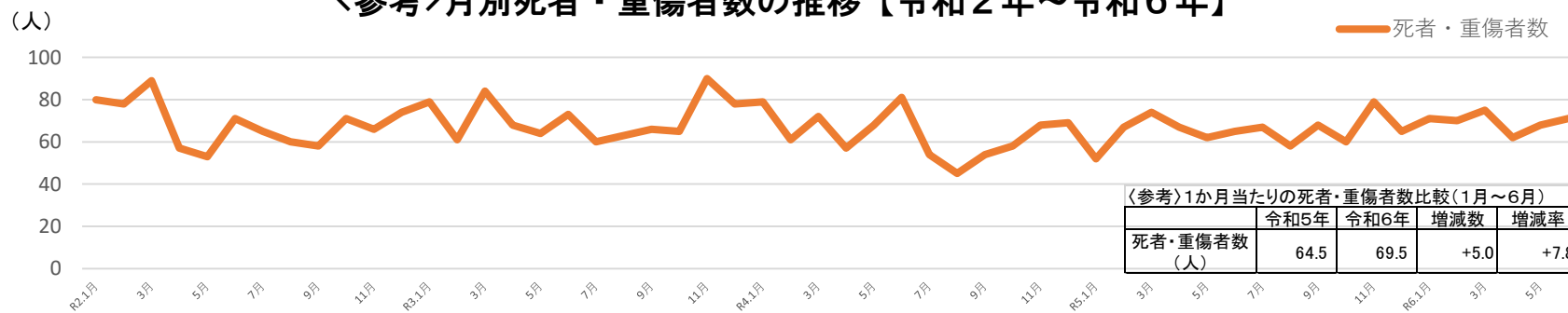
交通事故死者数の推移【各年6月末】



構成率	53.1%	53.3%	56.1%	54.8%	61.5%	46.8%	47.6%	44.7%	55.2%	61.4%	57.4%
うち65歳以上(千人)	1,278	1,321	1,357	1,384	1,409	1,425	1,432	1,445	1,449	1,451	—
高齢者の人口率	25.1%	25.9%	26.6%	27.1%	27.6%	27.9%	27.9%	28.2%	28.3%	28.4%	—

(注)・人口は、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在人口)による。以下同じ。

<参考>月別死者・重傷者数の推移【令和2年～令和6年】



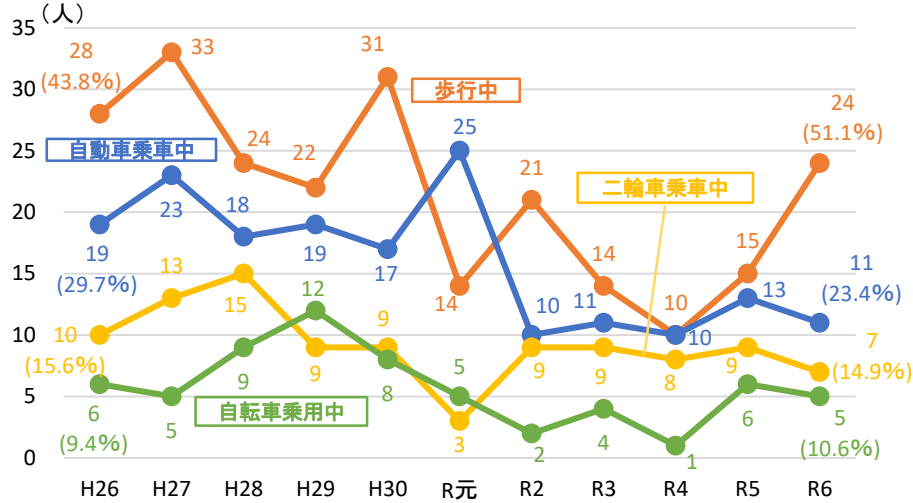
<参考>1か月当たりの死者・重傷者数比較(1月～6月)				
死者・重傷者数(人)	令和5年	令和6年	増減数	増減率
	64.5	69.5	+5.0	+7.8

死者・重傷者数	R2.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1月	2月	3月	4月	5月	6月
	80	78	88	57	53	71	65	60	58	71	66	74	79	61	84	68	64	73	60	63	66	65	90	78	79	61	72	57	88	81	54	45	54	68	68	69	62	67	74	67	62	65	67	58	68	60	79	65	71	70	75	82	68	71

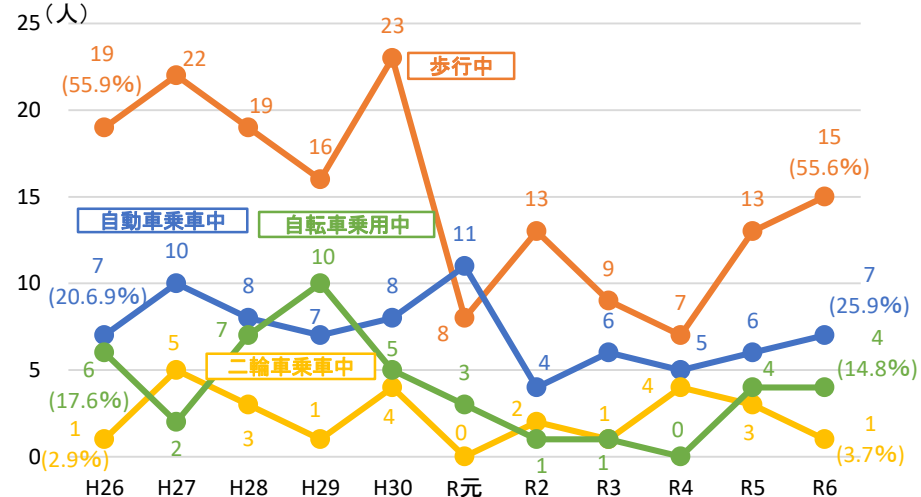
2 状態別交通事故死者数の推移

- 状態別死者数は全年齢で、「歩行中」は増加、「自動車乗車中」、「二輪車乗車中」、「自転車乗用中」は減少
- 状態別死者数は、全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最多

状態別死者数の推移（全年齢）【各年6月末】

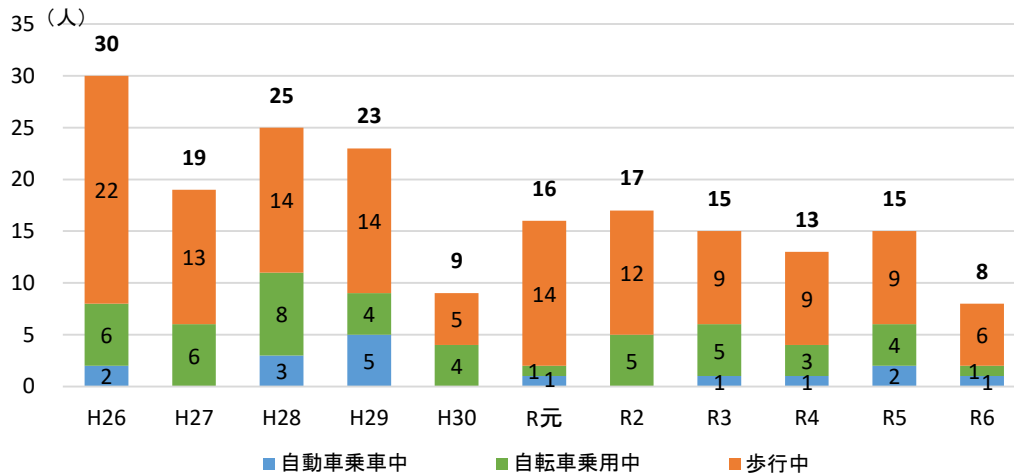


状態別死者数の推移（65歳以上）【各年6月末】



(注)・()内は、全死者数に占める構成率
 ・「二輪車」は、自動二輪車及び一般原動機付自転車をいう。

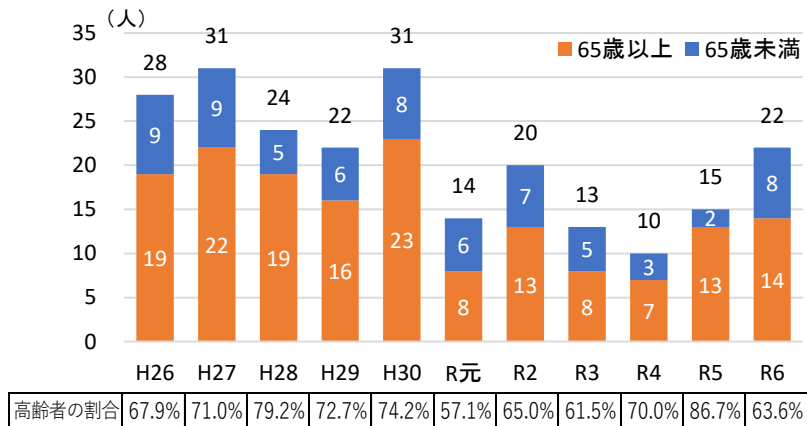
状態別死者・重傷者の推移（小学生）【各年6月末】



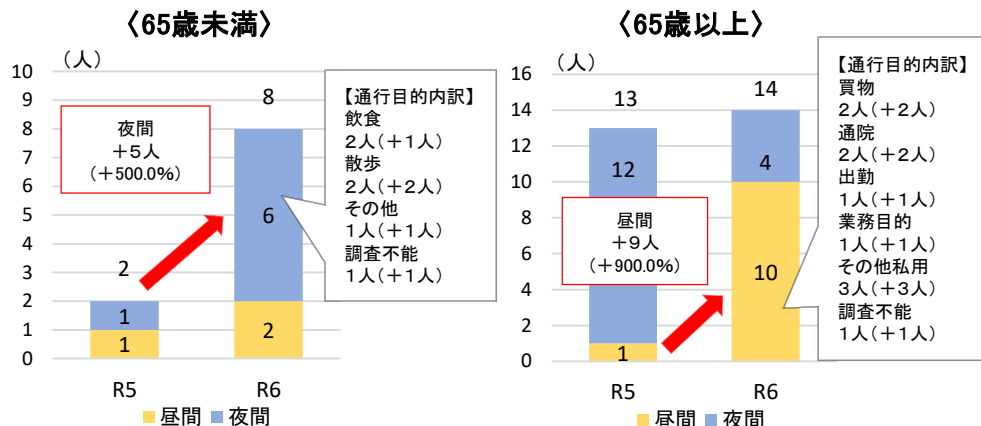
3 歩行中死者の状況

- 歩行中死者数は2年連続の増加、65歳未満の「夜間」・65歳以上の「昼間」が増加
- 事故類型別で見ると、昼間帯65歳以上の横断中が増加

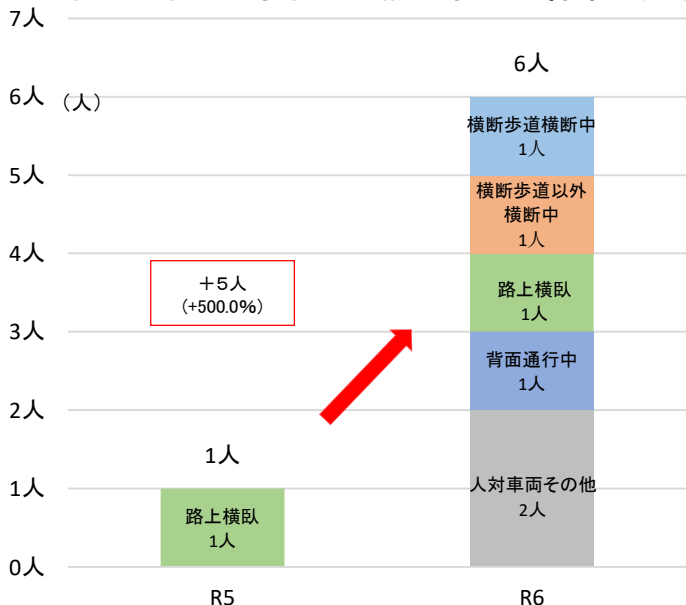
年齢層別歩行中死者数の推移（第1・第2当事者）
【各年6月末】



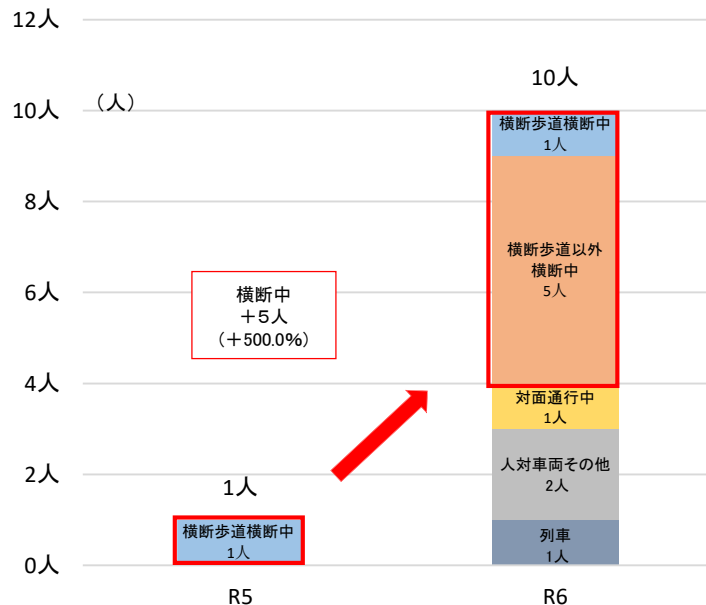
昼夜別歩行中死者数比較（第1・第2当事者）
【各年6月末】



夜間における事故類型別歩行中死者数比較
（第1・第2当事者、65歳未満）【各年6月末】



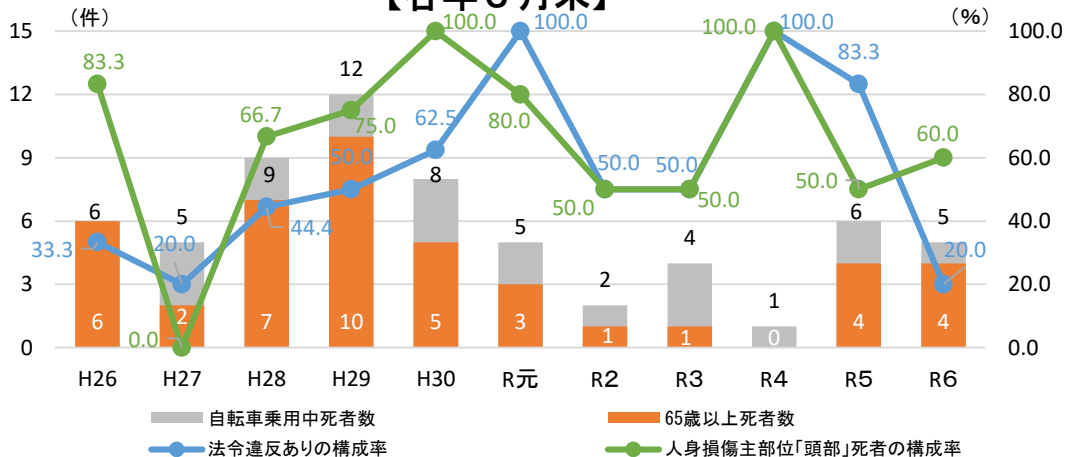
昼間における事故類型別歩行中死者数比較
（第1・第2当事者、65歳以上）【各年6月末】



4 自転車関連交通事故の状況

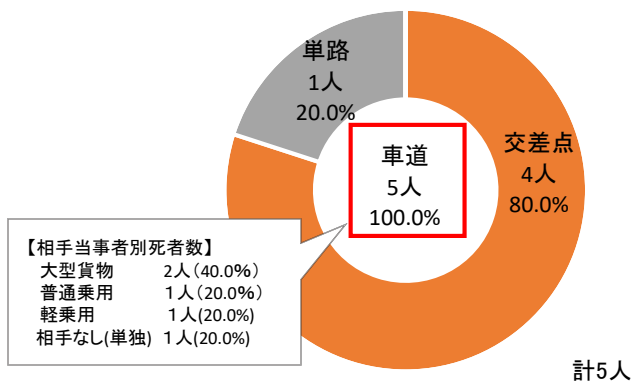
- 自転車乗用中死者の人身損傷部位は「頭部」の割合が高い
- 交差点の事故が多く、自転車の法令違反なしが8割

自転車乗用中死者数（第1・第2当事者）の推移
【各年6月末】

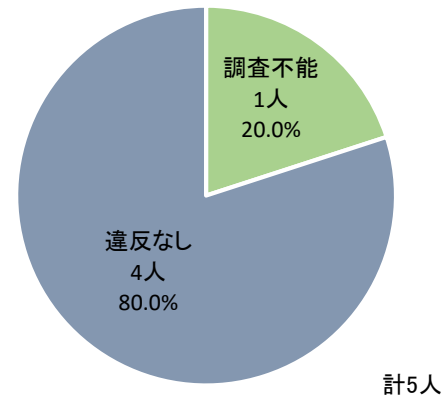


法令違反あり死者数	2	1	4	6	5	5	1	2	1	5	1
人身損傷主部位「頭部」死者数	5	0	6	9	8	4	1	2	1	3	3

衝突地点別自転車乗用中死者数
（第1・第2当事者）
【6月末】



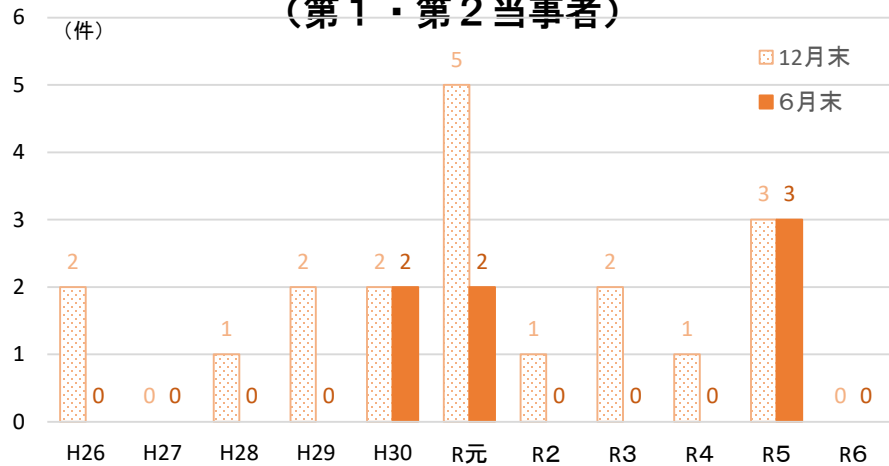
法令違反別自転車乗用中死者数
（第1・第2当事者）
【6月末】



4-2 自転車関連交通事故の状況

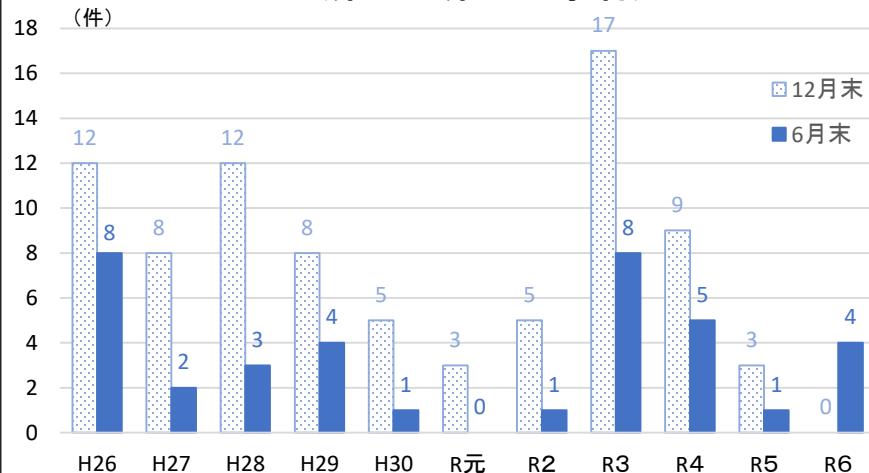
- 飲酒自転車関連死亡・重傷事故は平成26年以降平成27年及び令和6年を除き発生
- 携帯電話等使用自転車関連事故は各年発生しており、令和3年が17件で最多

飲酒自転車関連死亡・重傷事故件数の推移 (第1・第2当事者)



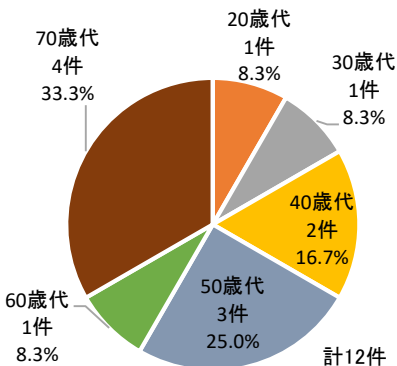
(注)・自転車第1又は第2当事者となった事故のうち、自転車運転者が飲酒運転であった事故を集計したものであり、飲酒運転の自転車同士の事故は1件として計上した。

携帯電話等使用自転車関連事故件数の推移 (第1・第2当事者)

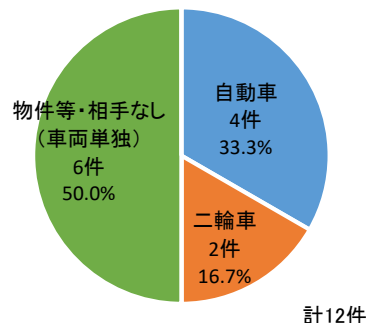


(注)・自転車第1又は第2当事者となった事故のうち、自転車運転者の携帯電話、スマートフォン等の使用が発生要因となった事故を集計した。

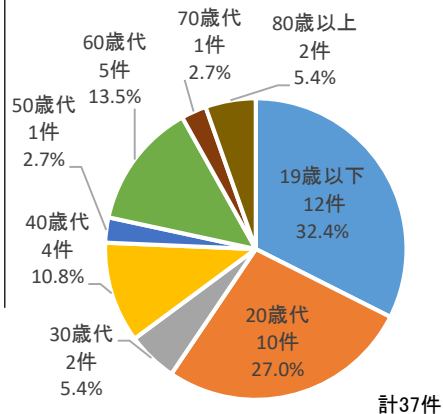
〈参考〉 年齢層別飲酒自転車関連 死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】



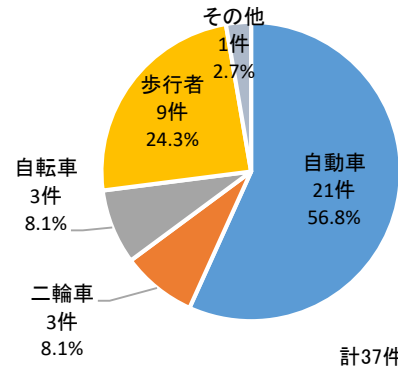
〈参考〉 相手当事者別飲酒自転車関連 死亡・重傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】



〈参考〉 年齢層別携帯電話等使用 自転車関連傷事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】



〈参考〉 相手当事者別携帯電話等使用 自転車関連事故件数 (第1・第2当事者) 【令和元年～5年合計】

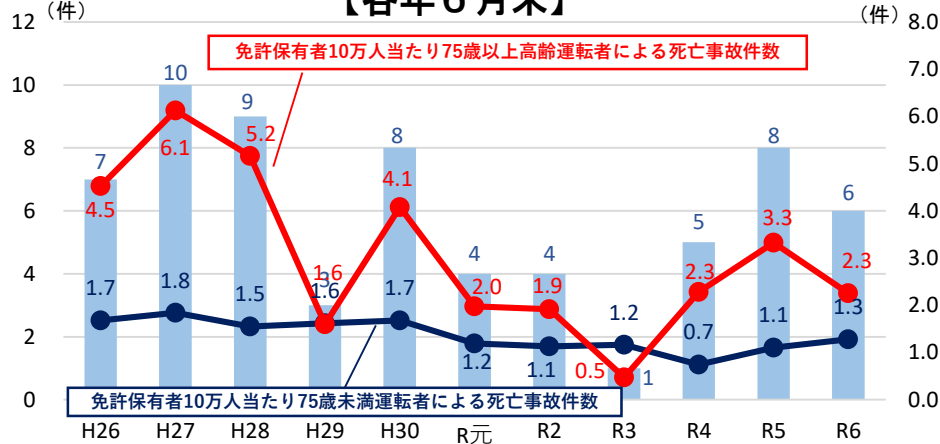


(注) ・ 自転車相互事故は、第1当事者の年齢により区分した。

5 高齢運転者による交通死亡事故の状況

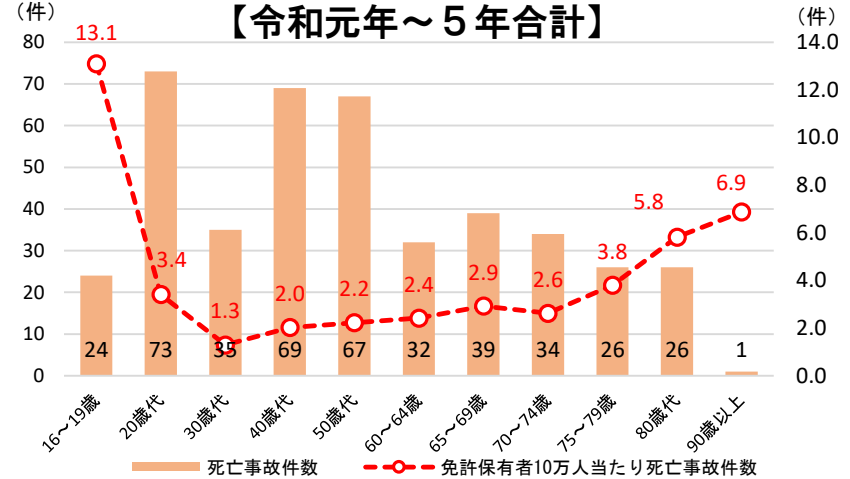
- 免許保有者10万人当たりの死亡事故件数は、75歳以上高齢運転者が75歳未満運転者よりも多い
- 75歳以上高齢運転者・75歳未満運転者共に「安全不確認」による事故が多い

75歳以上高齢運転者による死亡事故件数の推移 【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
 ・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。
 ・算出に用いた免許保有者数は、各前年12月末の値である。

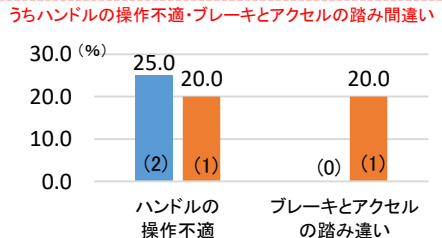
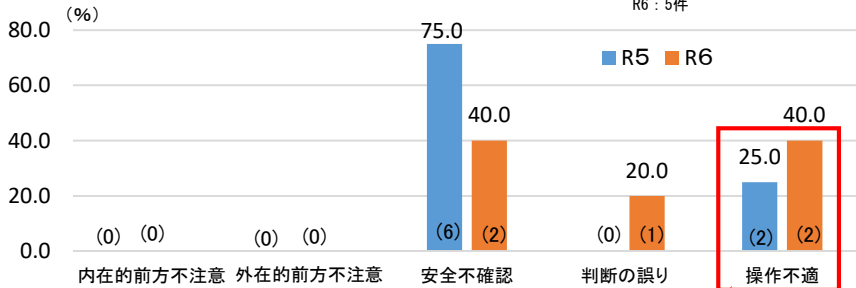
〈参考〉一般原付以上運転者の年齢層別死亡事故件数 【令和元年～5年合計】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
 ・算出に用いた免許保有者数は、令和元年から令和5年における合計値である。

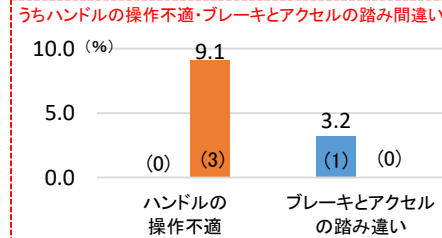
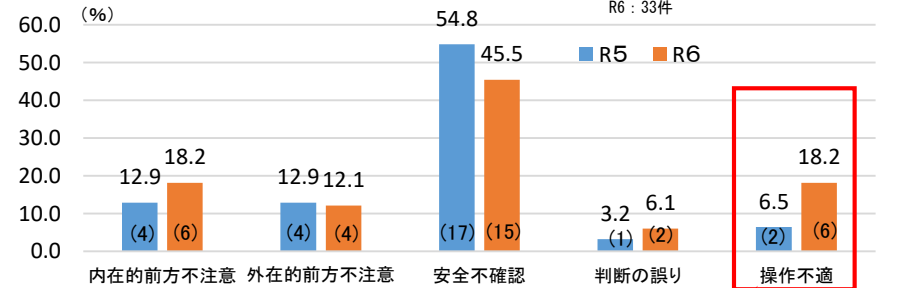
自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較 【各年6月末】

〈75歳以上の高齢運転者〉



(注)・自動車運転者による死亡事故の人的要因の構成率をグラフ化したものである。
 ・()内は件数を示す。
 ・第1当事者が自動車(乗用車、貨物車、特殊車)の件数である。

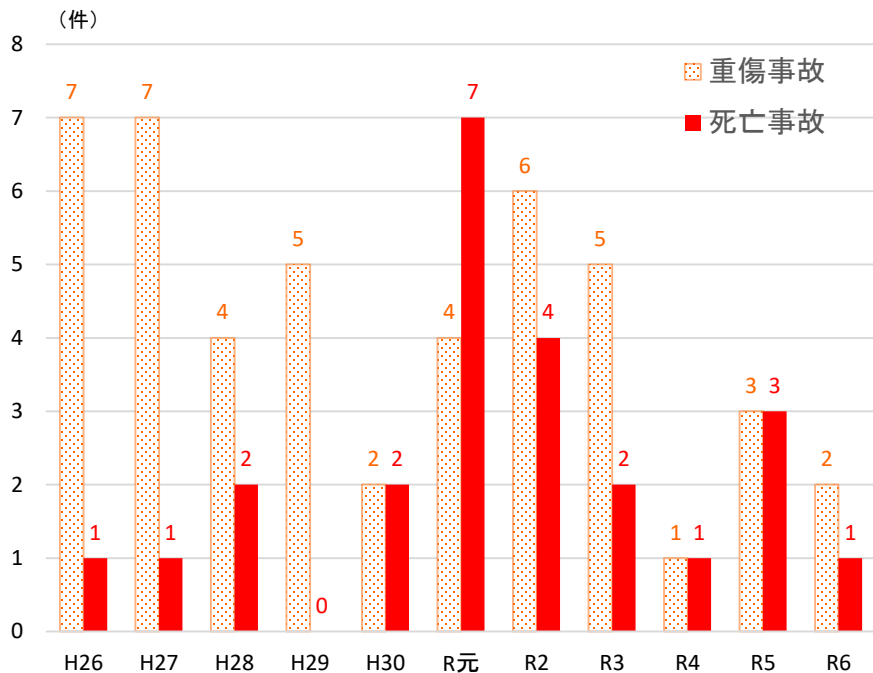
〈75歳未満の運転者〉



6 飲酒運転及び携帯電話等使用に関する交通事故の状況

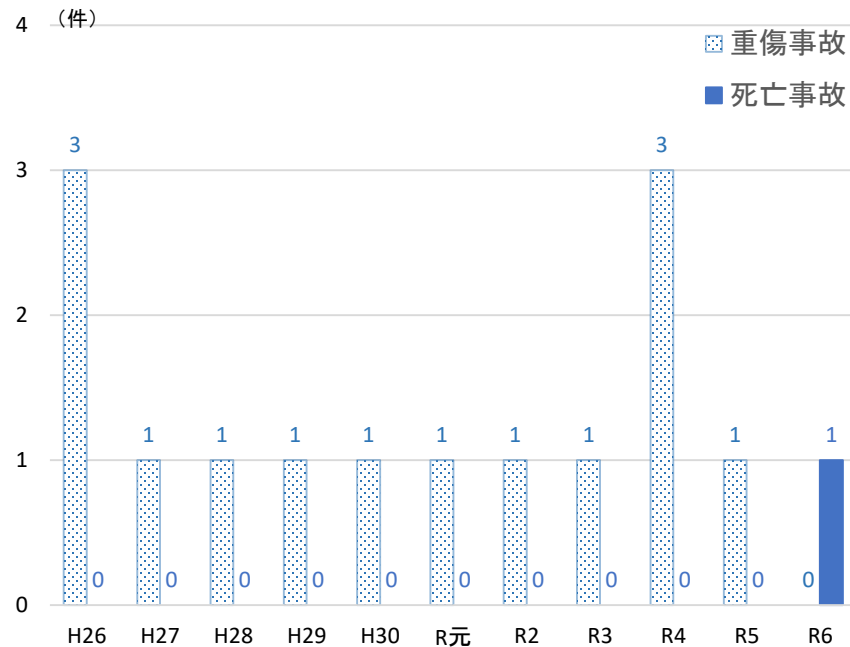
- 飲酒死亡事故は令和元年が最多、飲酒重傷事故平成26年・平成27年が最多
- 携帯電話等使用死亡事故は令和6年に1件発生

飲酒死亡・重傷事故件数の推移 【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
 ・「飲酒死亡事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準値以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいう。

携帯電話等使用死亡・重傷事故件数の推移 【各年6月末】



(注)・第1当事者が自動車（乗用車、貨物車、特殊車）の件数である。
 ・携帯電話・スマートフォン等の使用が要因となって発生した事故を集計した。